

トヨタ C-HR専用 HiDシステム

取付・取扱説明書

アサヒライズ株式会社 エフイーティー事業部
〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004
CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

ハロゲンバルブ装着車のみ対応

適合車両

■C-HR ハイブリット車 / ガソリン車
型式:ZYX10 / NGX50
年式:2016年12月以降
グレード:G / S / G-T / S-T
(LEDヘッドランプパッケージ車 / LED Edition除く)

⚠ ご注意

- この度は、TOYOTA C-HR専用HIDシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。
この製品は、お車のヘッドライトをハロゲンバルブから、HIDバルブに交換する為の製品です。
正しく安全にご使用いただく為に、この取付、取扱い説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上でご使用ください。
- 本製品は、TOYOTA C-HRハイブリット車(ZYX10)、C-HRガソリン車(NGX50)ハロゲンバルブ装着車専用です。当該車両以外では使用しないでください。
当該車両以外でご使用された場合、球切れモニター点灯など車両のシステムに誤作動などの症状が発生する場合があります。
- 本製品の使用、取付けの際には、本取付・取扱説明書、及び車両メーカー作成の整備マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。
- HIDシステムは陸運支局に確認の上、車検対応として製造されておりますが、通常のハロゲンバルブとは異なる発光色に見える為、稀に検査によっては不適合と判断される場合があります。
- 本製品は、通常のHIDシステムやハロゲンバルブより明るさが増加する為、光軸が合っていないかったり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがありますので、必ず光軸を正しく合わせてご使用ください。
- HIDシステムに交換する事によって、灯具(車両)によってはハロゲンバルブでは出なかった光が出る事もあります。
- 本製品の取付、交換は専門の技術と経験が必要です。安全の為、必ず整備工場や自動車電装品取扱いの専門店にて行ってください。

⚠ 使用上のご注意

- 車両のパワースイッチがオフまたはACCの状態ではヘッドライトを点灯させないでください。
バッテリー上がりやHIDシステムの不具合の原因となります。
- 車両、補機バッテリーの充電状態によりオートライトを併用しエンジン始動(レディー)した際、HIDが正常に点灯しない場合があります。
点灯しない場合でも、ヘッドライトを一度、OFFにしてからONにすると正常に点灯します。予め、ご了承ください。

製品仕様

【H.I.D バルブ】

- タイプ : HIR2
- 消費電力 : 35w

【インバータ】

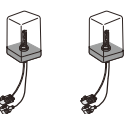
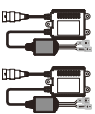
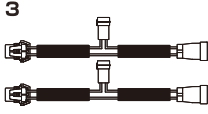
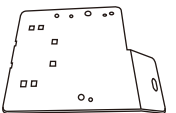
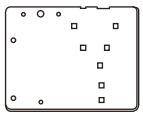
- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力電圧 : 85v

【イグナイタ】

- 無負荷二次電圧 : 20~30kv

構成部品

※ご使用前に部品が全て揃っているか、ご確認ください。

1		2		3		4		5		6	
HIDバルブ	2	バラスト	2	バラスト電源線	2	インシュロック	6	ネジ(M4X8)	6	六角ボルト(M6×15)	1
7		8		9		10		11		12	
インバータステー右	1	インバータステー左	1								

⚠ 安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

⚠ 警 告

- ガラス球内部の圧力が高いため、落したり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。
破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。
- 紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。
火災の原因となります。

⚠ 注 意

- ⚠ このHIDシステムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。
イグニタ、インバータは、始動時に高電圧を発生する為、ノイズが発生する場合があります。イグニタ、インバータの取付位置や車両によっては、車両(コンピュータ、オーディオ等)に影響する場合があります。
- ⚠ ライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり洗車などは、おこなわないでください。
点灯中や消灯直後はライトのレンズやボディーが熱いのでヤケドの原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後の洗車は温度差によるレンズ割れの原因となることがあります。
※洗車やライト付近の作業をおこなう場合は、充分にさました後、作業をおこなってください。
- ⚠ 点灯中の光(電球)を間近で長時間見つめないでください。
目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
- ⚠ 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。
HIDバルブをイグニタへ接続しない状態で、ライトスイッチをオンにするイグニタ側のHIDバルブ接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。
また、この状態でライトスイッチをオフにしても高電圧が残留(遮断後約300msec以内)し、感電する恐れがあります。
- ⚠ ライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。
このシステムは、通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていないかたり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

⚠ 取付作業に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 停車中(信号待ちなど)の点灯/消灯は頻繁におこなわないでください。
点灯/消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が消耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起こす原因となります。
注)ライトスイッチの点灯/消灯を短い間隔でくり返すと点灯しなくなる場合があります。
これは、インバータの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。この症状が出た場合、数秒の間隔(10秒以上)を置いてから再点灯をおこなってください。
- 下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。
この症状はインバータの昇圧差や固体差によって発生する症状で、クレームの対象とはなりませんので、ご理解の上で使用ください。
1) 点灯直後や再点灯時に(約10~20秒間)赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。
2) 左右のライトが同時に点灯しないことがあります。
3) 点灯時、左右の照射色が異なる場合があります。これは商品の固体差により発生するものでクレーム対象とはなりませんので、ご理解の上で使用ください。
- 改造、分解は絶対におこなわないでください。
この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムの作動中は高電圧を発生しますので、インバータ・イグニタ・HIDバルブなどの改造や分解は絶対におこなわないでください。
また、改造や分解、不当な修理に起因し生じた故障および損傷については、製品保証の対象外となりますので、ご了承ください。

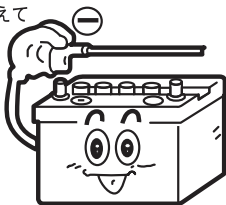
使用中におかしいな?と思ったら!!

- 1) 速やかに車両を安全な場所へ移動し、停止させてください。
- 2) ライトスイッチを消灯状態にして、数秒後再点灯をおこなってください。
- 3) 上記作業を何度かおこなっても症状が改善されない場合は、再度10分から20分程度電源を切り(ハザードは除く)、その後再点灯をおこなってください。
※上記作業をおこなって正常にもどれば、インバータの安全回路が作動に起因し発生した症状なので、そのままご使用頂いて問題はありません。
もし症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄の駐車設備のある場所へ車両を移動し、速やかに購入・取付けをおこなった販売店へご相談ください。

⚠ 使用に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

●必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ラジオのプリセットチューニングなど電装品のメモリーを控えておく。《車種によりバッテリーケーブルを取外すと車両側の制御機能が誤作動する場合があります。詳しくは車両の取扱マニュアルをご参照ください。》



●ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

※取付後の修復チェックを確実に行う。



●ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用して確実に行う。

※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。



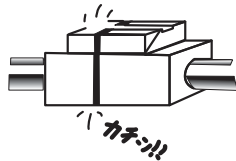
●車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

※ハーネス断線を防止する。



●コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。

※接続不良を防止する。



●ハーネス(配線)配線の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらぶらさせない。

※イグニタ、バルブ間の配線を絶対に結束しないでください。



●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスをひっかけたりかみ込んだりしないこと。

※ハーネス断線を防止する。



●車両のワイヤリングハーネスを強く引っ張らないこと。

※コネクター外れや断線を防ぐ。



●ハーネス配線後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行うこと。

※誤配線の防止。



⚠ 取扱（取付）に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

装着作業をおこなう際は下記項目を必ずお守りください。

※下記の項目をお守りいただけず発生したトラブルに関しては、クレームとしてお受けできません。

◎取付作業を開始する前に、必ずシステムの作動確認をおこなってください。

※バルブパッケージは未開封の状態でイグナイタ、インバータを仮接続し、HIDバルブの点灯テスト要領をご参照の上点灯確認をおこなってください。

※バルブパッケージは開封後は、クレームとしてお受けできません。（但し、製品上のトラブルは除く）

※点灯テスト手順は、別項の点検要領をご参照ください。

◎HIDバルブの装着作業をおこなう際は、必ず車両からライトを外しておこなってください。

※HIDバルブはとてもデリケートです。装着作業をおこなう際は必ず車両からライトを取り外した状態で作業をおこなってください。

◎イグナイタ、インバータの取扱は慎重におこなってください。

※イグナイタ、インバータは精密な電子回路の集合体です。落としたり、配線を引っ張ったりしないでください。

また、システム作動中は高電圧が発生しておりますので装着や点検作業をおこなう場合、必ずライトスイッチがオフになっていることやバッテリーの端子が取外されていることを確認の上、作業をおこなってください。

インバータ、イグナイタの取付けに際しては、水や熱がかかりにくいエンジンルーム内へ確実に固定してください。

◎減光システム装置付き車両への装着または併用はできません。

※一般的な減光システムは、出力電圧を自動で調整（上げ下げ）することでライトの光量調整（減光）をおこなう装置です。

HIDシステムと併用した場合、減光システムが作動した際、HIDの作動に必要な最低起動電圧（9ボルト）を下回り、電圧不足が発生し不点灯やシステムの破損の原因となります。

◎オートライトをご使用エンジン始動（レディー）にするとまれに、不点灯が起こる場合があります。

※車両側の補機バッテリーの充電状態により、オートライト（コンライト）の設定でエンジン始動（レディー）を行なうと、まれに、電力不足の為、不点灯が起こる場合があります。その際は、一度、ヘッドライトスイッチをOFFにしてからONにすると正常に点灯します。予め、ご了承ください。

ハズシテネ!



HIDバルブの点灯テスト要領

☆H.I.D.バルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。☆

当商品は出荷前に振動／点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業前に、下記点灯テスト要領をご参照の上、必ず点灯確認作業をおこなってください。

《点灯テスト手順》

①H.I.D.バルブを開封する前に左図をご参照の上、H.I.D.バルブ、バラスト、電源線をそれぞれ接続してください。

②接続終了後、ヘッドライトスイッチをONにしてください。

③H.I.D.バルブが点灯すればテストは終了となります。

⚠ ご注意

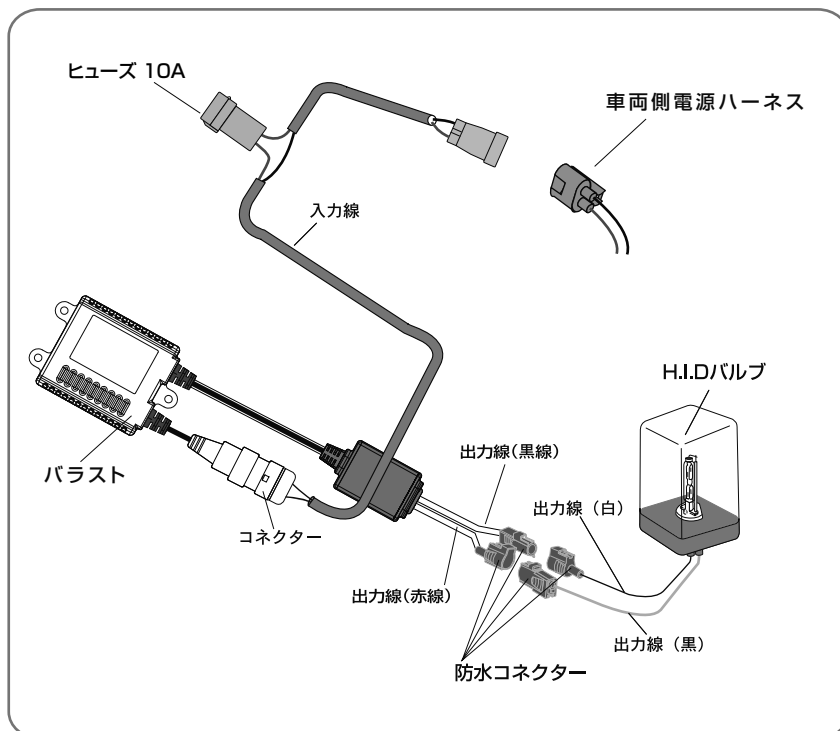
⚠ 点灯テストは、10秒以内に終了させてください。指定時間以上点灯をおこなった場合、ヤケドやバルブケースの溶解などケガの原因となります。

⚠ 点灯テストで、点灯が確認できない場合は、直ちに取付け作業を中止してください。

⚠ システムの破損につながりますので、電源接続の際は、プラス（+）、マイナス（-）を絶対に間違えないでください。

⚠ 破損や作動不良の原因となりますので、バラストにバッテリーなどのプラス電源が触れないよう、ご注意ください。

※装着前の点灯テストを怠りバルブケースを開封した場合や装着作業中に発生した破損などはクレームの対象外となりますので十分ご注意ください。



トラブルシューティング

◎全く点灯しない

ヘッドランプスイッチはONになっていますか？

NO

ヘッドランプスイッチをONにしてください。

各コネクタは確実に接続されていますか？

NO

コネクタを確実に接続してください。

ハーネスの接続間違えはありませんか？

NO

P4取付概要、配線構成図を参照し、確認してください。

ヒューズは切れていませんか？

NO

新品の15A ヒューズと交換してください。

HIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

◎片側が点灯しない

各コネクタは確実に接続されていますか？

NO

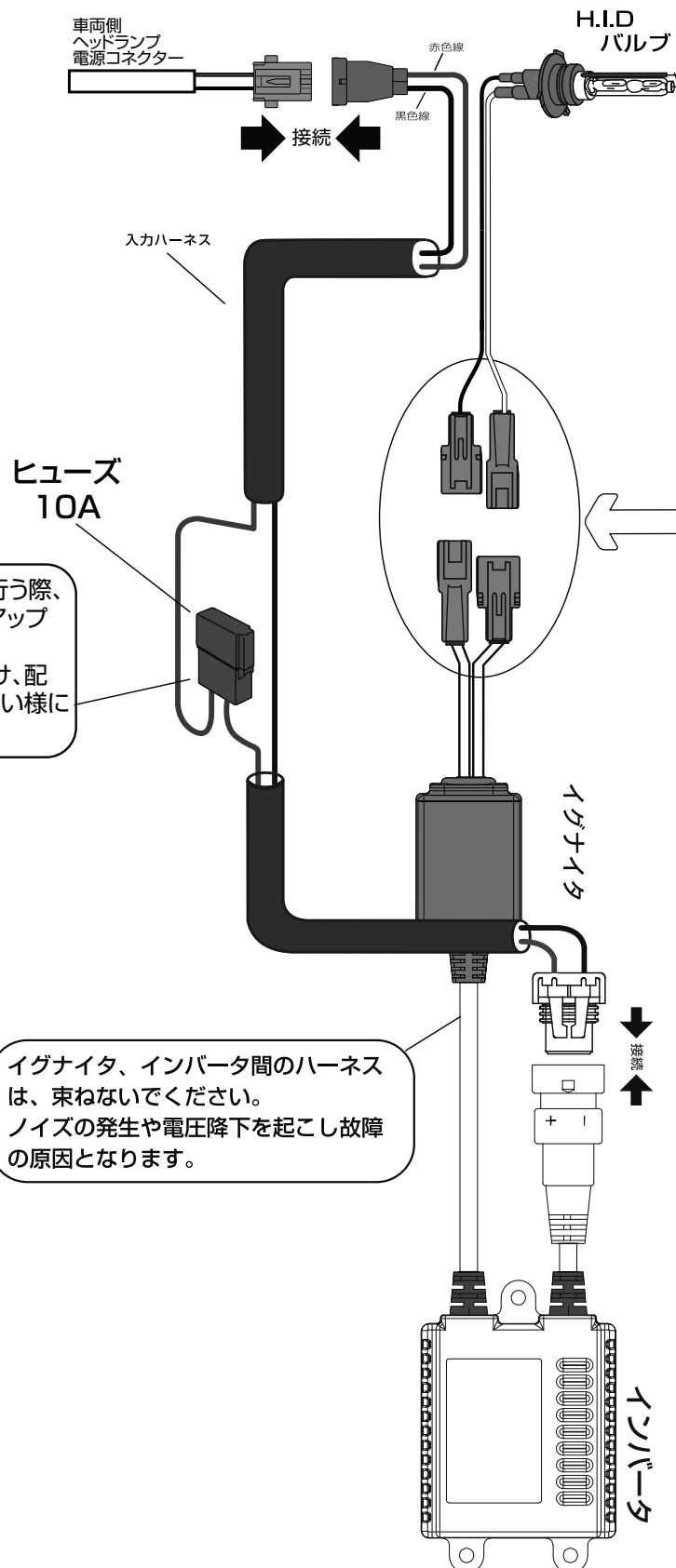
コネクタを確実に接続してください。

点灯するライト側のインバータ・イグナイタを点灯しない側へ付け替えてください。

NO

バルブにトラブルが発生しています。（販売店にて点検を受けてください。）

片側のHIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

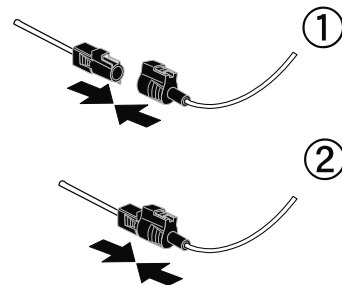


ヒューズケースの取付けを行う際、防水性を高めるためグリスアップする事を推奨します。配線を必ず下向きにし取付け、配線は無理に引っ張ったりしない様にしてください。

イグナイタ、インバータ間のハーネスは、束ねないでください。ノイズの発生や電圧降下を起こし故障の原因となります。

【H.I.D.バルブカプラーの接続】

バルブカプラー本体(オス・メス)を“カチッ”と音がしてロックするまで押し込み確実に接続してください。

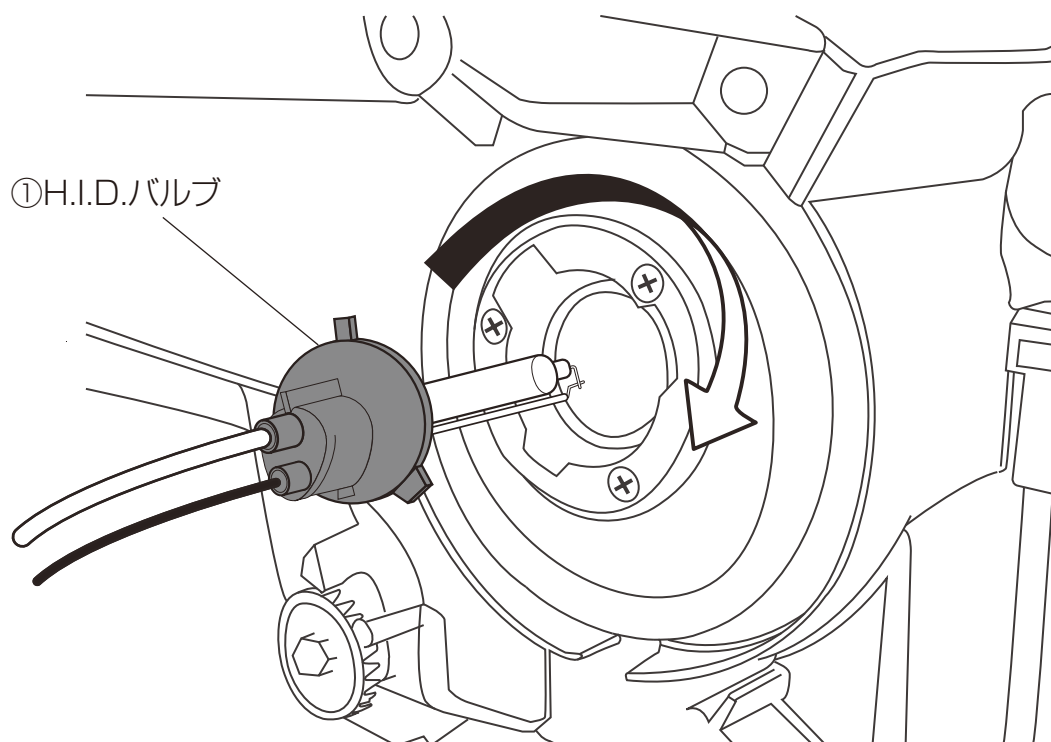


○車両装着手順

取付手順 1 HIDバルブの取付け

ヘッドライトから純正ハロゲンバルブを取外し、H.I.D.バルブをハロゲンバルブ脱着の手順で取付けてください。

1. ヘッドライトユニットより、ハロゲンバルブの電源カプラーを抜き、ハロゲンバルブを左に回し脱着してください。※左右のハロゲンバルブを取り外してください。
2. 付属の①H.I.D.バルブをハロゲンバルブ脱着と逆の手順で取付けてください。(図1)
※左右のHIDバルブを取り付けてください。

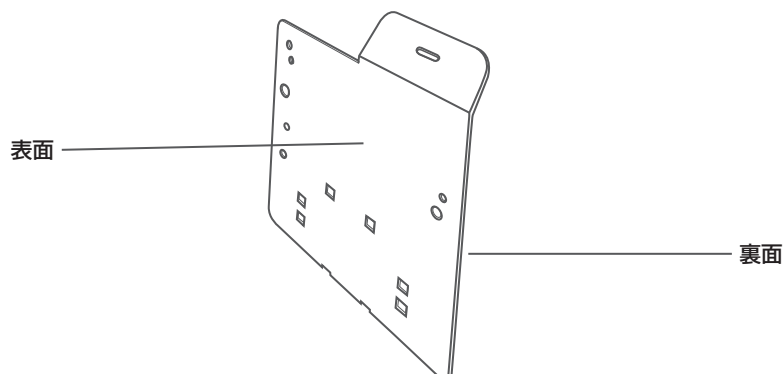


(図 1)

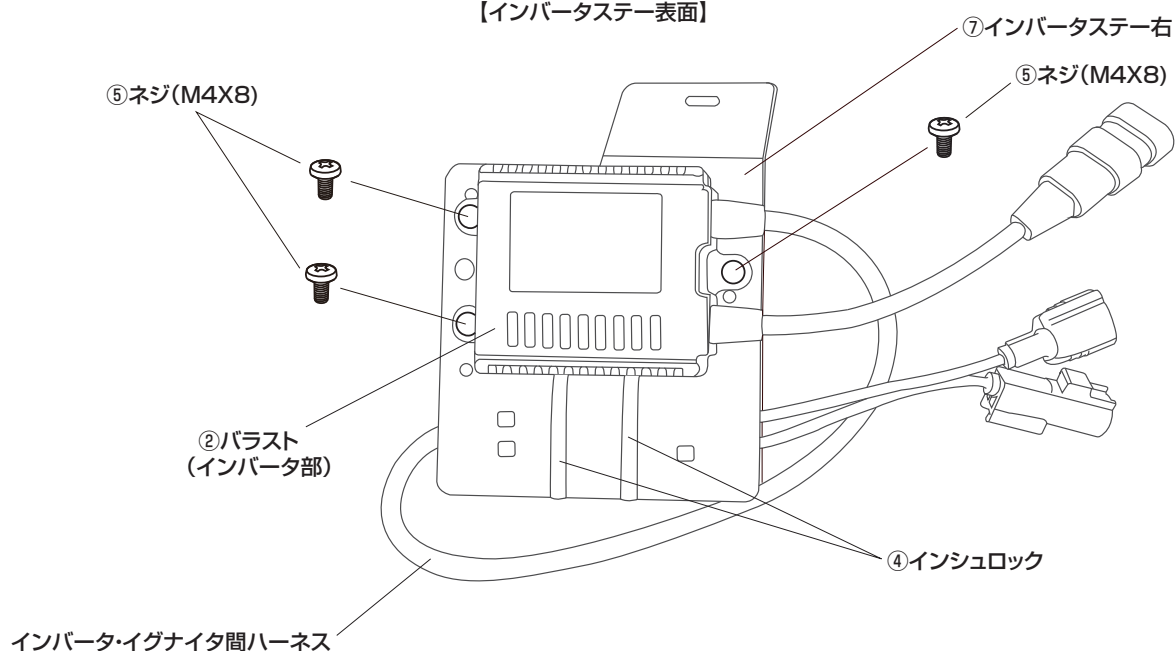
2-1 運転席側インバータの取付け

- ⑦インバータステー右の表面に、②バラスト(インバータ部)を⑤ネジ(M4X8)3本を使い、図の向きを参考にし固定してください。
- ⑦インバータステー右の裏面に、④インシュロックを2本使い②バラスト(イグナイタ部)を図の向きを参考にし固定してください。
この時、インバータ・イグナイタ間ハーネスを下記の図の様に曲げてイグナイタ部を固定してください。

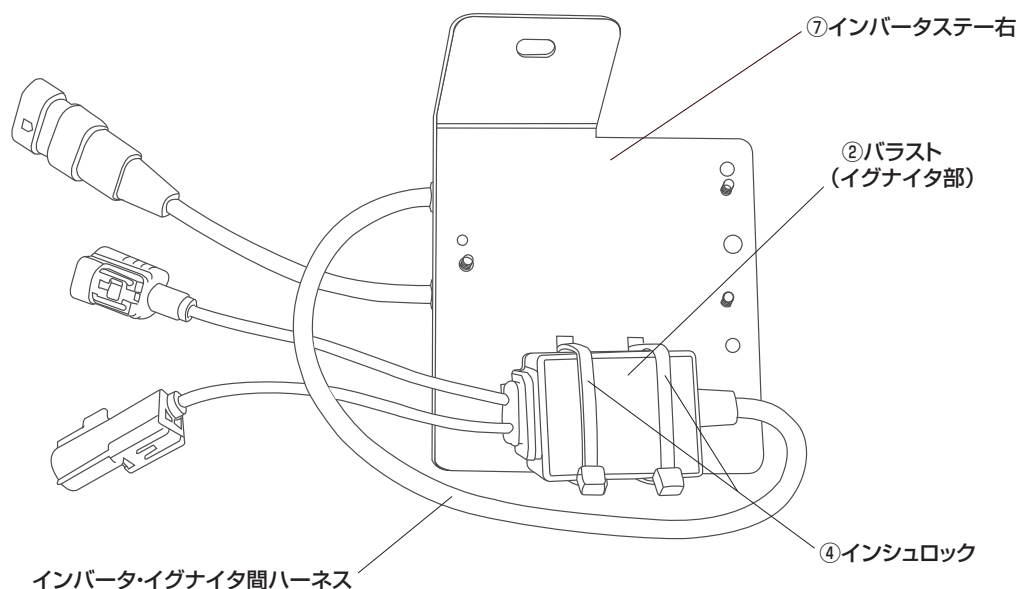
【インバータステー右】



【インバータステー表面】



【インバータステー裏面】

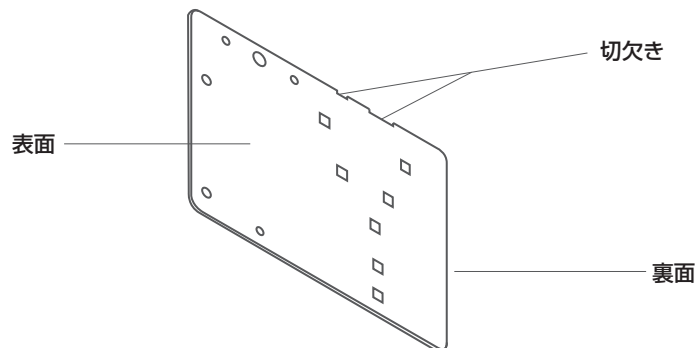


○車両装着は、P8 車両装着手順をご参照頂き、取付けを行ってください。

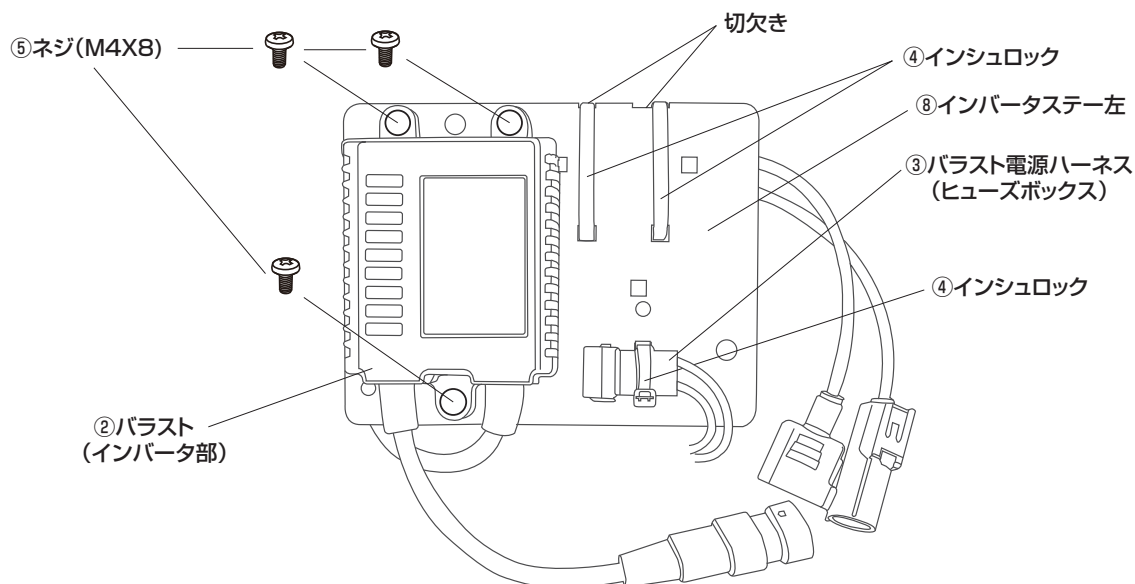
2-2 助手席側イグナイタの取付け

- ⑧インバータステー左の表面に、②バラスト(インバータ部)を⑤ネジ(M4X8)3本を使い、図の向きを参考にし固定してください。
- ⑧インバータステー左の表面に、④インシュロックを1本使い③バラスト電源ハーネスのヒューズボックスを、図の向きを参考にし固定してください。
- ⑧インバータステー左の裏面に、④インシュロックを2本使い②バラスト(イグナイタ部)を図の向きを参考にし固定してください。
この時、インバータ・イグナイタ間ハーネスを下記の図の様に曲げてイグナイタ部を固定してください。

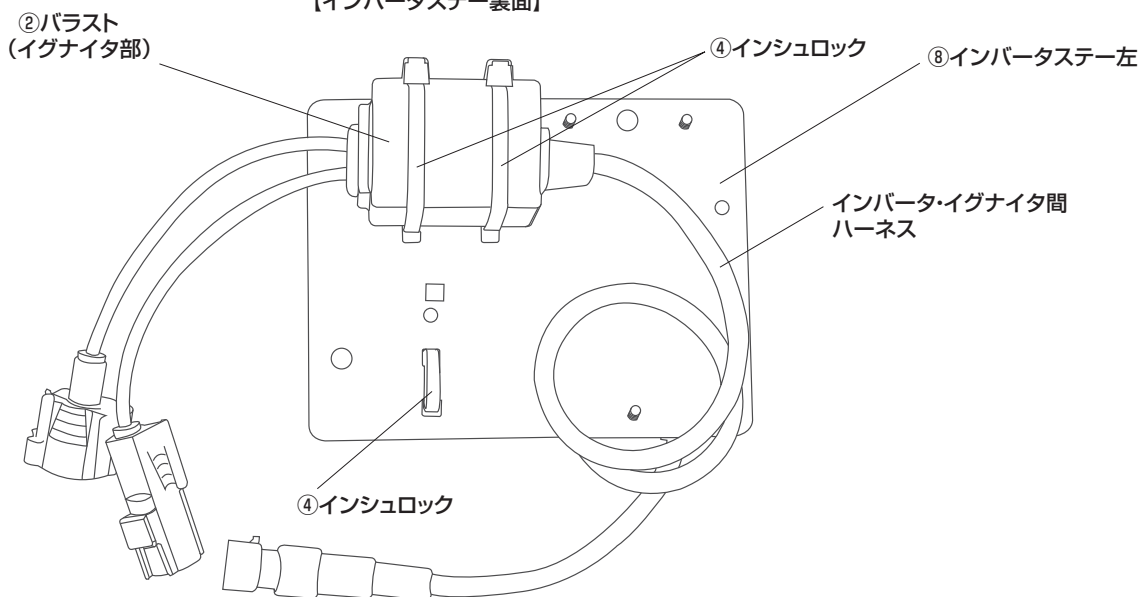
【インバータステー左】



【インバータステー表面】



【インバータステー裏面】



○車両装着は、P8 装着手順をご参照頂き、取付けを行ってください。

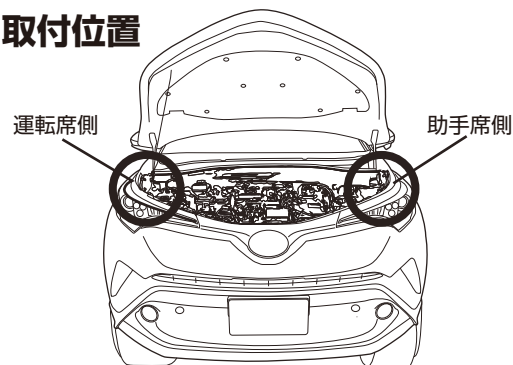
取付手順 3

車両へのインバータの取付け

3-1 運転席側インバータの取付け

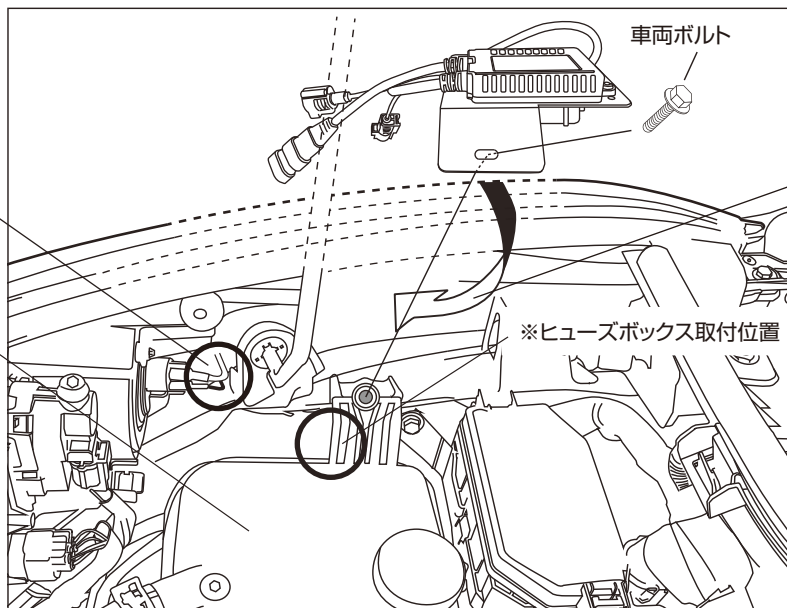
1. ラジエターリザーバタンクを固定しているボルトを外して下さい。
2. P6の手順で組付けたインバータステー右をラジエターリザーバタンクボルトを固定していたボルトを使用し、下記の図を参考に組付け固定してください。
3. ③ バラスト電源線 ヒューズボックスを、下記の図※の位置に④ インシュロックを使用し、ハーネスが下向きになる様に固定してください。ボルトの締付けはサービスマニュアルを参照し、指定締付けトルクで固定してください。

取付位置



※バルブハーネスは、フェンダー側に取り回しを行ってください。

リザーバタンク



※インバータステーをフェンダー側へ入れる様にセットしてください。

※ヒューズボックス取付位置

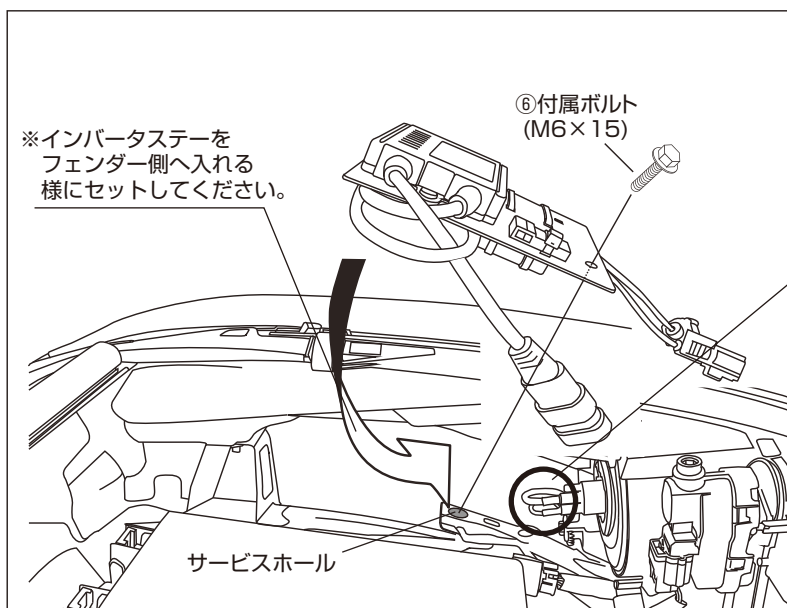
3-2 助手席側インバータの取付け

1. 助手席側ベッドライト後ろの車両サービスホールへ、下記の図を参考にし、P7の手順で組付けたインバータステー左を⑥ 付属ボルト (M6×15) を使用して固定してください。

※インバータステーをフェンダー側へ入れる様にセットしてください。

⑥ 付属ボルト (M6×15)

※バルブハーネスは、フェンダー側に取り回しを行ってください。



サービスホール

取付手順 4 配線方法

1. P4接続構成図を参考にし、ハーネスを接続してください。
2. 電源ハーネスのヒューズケースは、配線が下向きになる様に、附属のインシュロックを使い固定してください。
3. バルブとバラストの接続カプラー(イグナイタ～HIDバルブ間)は、車両のフェンダー側に取回して接続してください。

取付手順 5 点灯確認・取付け

5-1 点灯確認・取付

取り付け作業が終わったら、正常に作動するか点灯確認を行い、必ず光軸調整を行ってください。
問題がなければ取り外したすべての部品を元の状態に戻してください。

※これで全ての取り付け作業は終了となります。



注意

- ・オートライト(コンライト)を使わないで、点灯テストを行なってください。
- ・高電圧配線(インバータ～イグナイタ～HIDバルブ間)とその他配線と絶対に束ねないでください。
- ・高電圧配線(インバータ～イグナイタ～HIDバルブ間)同士を束ねないでフリーな状態にしてください。
- ・ラジエターホース等のパイプ類には配線を固定しないでください。
- ・コネクター類がボディに振れないようにしてください。
- ・車体のエッジ部に配線が干渉しないようにしてください。
- ・確実な配線されていない場合は点灯動作不良の原因となります。